

ARCUS

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriya, Ibaraki

現在のアート・芸術文化を守谷から。

●問合先 アーカスタジオ (もりや学びの里2F ※日・月曜日休館)
☎46-2600 (10:00~18:00)

- ホームページ
<http://www.arcus-project.com/>
- フェイスブック
<http://www.facebook.com/arcusproject/>
- ツイッター
<http://www.twitter.com/arcusproject/>

◇アーカプロジェクトの最新情報は、ウェブや守谷市HPの「楽しむ・学ぶ」から！

暑い季節になりましたね。夏空に学びの里のグラウンドの新しい芝生の緑がよく映えます。

◎2014年度日本人ゲストキュレーター決定！

今年度の招へいアーティストの選考および専門的支援・解説を行うゲストキュレーターは、西川美穂子さんに決定しました。

*キュレーターとは？ 展覧会の企画や作家活動の研究を行う専門職です。

▼西川美穂子

東京都現代美術館学芸員。慶應義塾大学大学院文学研究科美学美術史学専攻博士前期課程修了。「MOTアニュアル2012」(2012)などを企画。

◎「パラレルサイト」高倉吉規

現在「スタジオ開放プログラム」を実施しています。これはレジデンスプログラム期間外に、アーティストにスタジオを提供し、制作現場を公開するものです。今回は市内在住のアーティスト高倉吉規さんが、新作に取り組みます。制作過程は公開され、本人の滞在時

には説明を行います。この機会に、ぜひスタジオにお越しください。

▼高倉吉規

東京藝術大学博士後期課程修了。昨年度文化庁海外研修制度研修員としてレバノン共和国に滞在。国内外の美術館・ギャラリーでの展覧会に参加。守谷市在住。

▽期間 7月31日(木)までの午前11時~午後6時▽会場 アーカスタジオ01※入場無料

◎イベント案内

▼高倉吉規トークイベント 今回の制作活動や昨年度のレバノンでの滞在経験について話します。

▽日時 7月19日(土)午後2時~4時▽会場 アーカスタジオ01※入場無料



▲高倉吉規さん

周囲の人に介護中であることを知ってもらいたい...

「介護マーク」を交付しています

●問合先 市役所介護福祉課 内線171、177

▼対象者

高齢者が増加する中、介護を必要とする人も増えています。特に認知症の方の介護は、他人から見ると介護をしていることが分かりにくいいため、周囲から誤解されることがあります。このようなときに、介護者がカード入りのケースを首から掛けるなど、介護者であることをさりげなく周囲に知ってもらうことで、介護者の心理的負担が軽減されます。

▼交付場所

①介護福祉課(高齢者) ②社会福祉課(障がい者)

▼申請方法

①個人の場合は、窓口に来る方の本人確認ができるもの(運転免許証や保険証等)を持参し、申請書に記入して申請する

▼介護マーク

※印鑑不要
②事業所等の場合は、申請書に記入して申請する
※事業所印が必要
▼介護マークの返還
介護マークの必要がなくなったら、市に返還する



▲介護中の方を温かく見守ります！

